

人材募集

原稿締切——毎月20日(翌々月号に掲載)
 字数——28字×48行以内(レイアウトは調整させていただきます)
 原稿送付先——事務局編集グループ 片寄 | E-mail: katayose@aij.or.jp、TEL03-3456-2070
 料金——70,000円(+税)/号(会誌へ掲載されたもののみを本会ホームページでご案内いたします)
 なお、ホームページのみの掲載は受け付けいたしません
 対象——学校(付属機関含む)、官公庁の研究機関等
 *5日経っても返信なき場合はお電話ください。

「慶應義塾大学理工学部／ 大学院理工学研究科」教員公募

①募集人員

1名

②職位

教授、准教授、専任講師のいずれか

③所属学科

システムデザイン工学科

④所属専攻

開放環境科学専攻(空間・環境デザイン工学分野)

⑤専門分野

形態創生、BIM、デジタルファブリケーションなどの先端技術および創造的・批判的思考法を用いたサステナブルな建築・都市システムの設計、計画、生産に関する先導的研究分野

⑥教育分野

上記専門分野(学部・大学院)に関する教育・研究、ならびに、空間設計製図Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、空間デザイン海外研修などの実験演習、建築デザイン論などの講義

⑦応募資格

博士学位取得者または着任時取得見込みの方。教育担当に必要な日本語の能力を有する方。

⑧着任時期

2021年4月1日(木)

⑨提出書類

- (1) 履歴書(写真貼付・様式自由)
- (2) 業績リスト(原著論文、著書、解説、国際学会発表、国内学会発表、外部資金獲得状況、その他に分けること)
- (3) 論文・雑誌記事等の別刷り(複写可)
- (4) これまでの研究概要と応募理由(1,000字程度)
- (5) システムデザイン工学の新展開に資する研究分野開拓の抱負(A4版1頁程度、図の利用も可)
- (6) 照会可能な方2名の連絡先(氏名、所属、役職、電話番号、e-mail)
- (7) 連絡先(電話番号、携帯、e-mail)

⑩応募締切

2020年7月28日(火) 必着

⑪選考方法

- 一次選考：書類審査
 二次選考：面接(8月下旬から9月上旬)

⑫書類送付先および問合せ先

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科
 学科主任 滑川 徹

E-mail: namerikawa@sd.keio.ac.jp

TEL 045-566-1731

※ 応募書類は封筒の表に「教員応募(建築系)書類在中」と朱書きし、書留郵便にて送付してください。

※ 原則として、応募書類は返却いたしません。

※ 新型コロナウイルス感染症対策として、電子ファイルでの応募も可とします。その場合には、最終的に1つのzipファイル(パスワード付)にまとめてご送付ください。パスワードもご連絡ください。

住所変更届

- ご記入のうえ封書またはFAXでお送りください。(毎月20日メ)
- 変更手続きは、本会ホームページでも行えます。(要サインイン)

会員No.	氏名
-------	----

通信先		1. 勤務先	2. 自宅
変更後の勤務先・在学先	住所	〒□□□□-□□□□ □□□□ 都道府県	
	名称		
	所属部署		
	役職名		
	TEL	FAX	
変更後の自宅住所	住所	〒□□□□-□□□□ □□□□ 都道府県	
	TEL	FAX	
	E-mail		

日本建築学会 会員担当
 〒108-8414
 東京都港区芝5-26-20
 FAX:03-3456-2058
<http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm>

業種(主なもの1つだけ選択)	職種(主なもの1つだけ選択)
1. 研究・教育機関 2. 大学院生 3. 学部学生 4. 総合建設業 5. 建築設計事務所 6. 構造設計事務所 7. 設備設計事務所 8. 積算事務所 9. コンサルタント 10. 住宅メーカー 11. 材料・機器メーカー 12. 専門工事業 13. 官公庁 14. 公団公社 15. 不動産業 99. その他()	1. 研究・教育 2. 事業企画 3. 建築設計 4. インテリア設計 5. 構造設計 6. 設備設計 7. 積算・見積 8. 工事監理 9. 生産計画 10. 工事管理 11. 維持保全 12. 建物経営 13. 技術開発 14. 商品開発 15. 都市計画 16. 調査・FS 17. 行政 18. 大学院生 19. 学部学生 99. その他()
関心のある分野(最大3つまで選択)	
1. 材料施工 3. 防火 5. 建築計画 7. 都市計画 9. 建築歴史・意匠 11. 情報・IT技術 13. 教育 99. その他()	2. 構造 4. 環境工学 6. 農村計画 8. 建築社会システム 10. 海洋建築 12. 建築作品 14. 地震災害